

物林株式会社とのつながり

木材流通総合商社の物林株式会社は、まちづくり複合施設建設時、木材・木製品の調達業務を行って以来、町内素材生産会社への出資や白鷹町事務所を設置するなど町内の森林、林業、木材産業に貢献しています。

また、令和5年より同社新入社員現地研修を白鷹町で実施しており、木造施設や苗木生産施設見学の他、植林体験を行っています。

■なぜ白鷹町で研修を行うのか

同社研修担当者は、白鷹町で新入社員研修を行う意義として、「木材流通を生業とする企業として、その根源である『木材の成り立ち』を深く学ぶ場として白鷹町で研修しています。白鷹町では、苗木の生産から始まり、木を育てる、伐採する、加工する、木材をふんだんに使った施設があるなど、生産から利用までの一連の流れがすべて



そろっている町です。これは、全国的にもめずらしいことです。そして、新入社員は白鷹町で林業、木材産業などの森林・木に関わる人とコミュニケーションを取りながら、現場の感覚を肌で感じているようです。

また、実際の植林などの研修の状況を見ながら新入社員の個性や得意分野の発見など非常に面白い研修が実施できていると考えています」と語っています。同社の新入社員からは複数行う研修の中で、「実践も含み人との交流も非常に多く印象に残る研修になった」との感想なども聞かれました。

同社研修担当者は、今後の活動について、「現地研修の拡大を考えており、親会社の㈱JKホールディングスや本社のある東京新木場界隈の関係事業者にもお声がけをして取組を広げたい」と語っています。



デロイト・トーマツ・グループとのつながり

監査、法務、税務、コンサルティングなど、多岐にわたる事業を行っているデロイト・トーマツ・グループ。グループの理念として「well-being」^{ウェルビーイング}を実現する社会の構築を掲げており、その一環としてさまざまな活動を実施しています。令和4年度からは同社の企業CSR活動として白鷹町内に「Ethicsの森」造成活動を実施してきました。毎年、30名程度の社職員の皆さまが白鷹町に来町し、町内森林関係者や学童保育の子どもたちと、これまでも中山、鮎貝地内で植林・下刈りを行い、終了後は、芋煮を食べ、地域の文化も体験しています。

■企業として植樹祭を行う意義

デロイト・トーマツ・グループの研修担当者は、「当法人は多くの社職員、部署があるため、白鷹町内で植樹祭を開催することは、法人内の部署を越えた交流ができること、法人内の業務の円滑化や部署間の新たな連携など多くの効果が期待できる事業のひとつと考えています。普段は都市部での仕事を中心ですが、白鷹町に実際に来て、地域の方々と一緒に植林を行うことが、とても良い刺激にもなり、普段とは違う活動を通して心身の健康や達成感、



文化的・精神的な豊かさを得られると思います。活動自体は、小さなことで、このような取組を継続していくことで、環境的にも地域的にも、社会意義があるものと考えます」と語っています。

また、同法人研修担当者は、今後の活動について、「今後もこの植樹活動を通じて、さまざまな形で白鷹町に貢献できればと考えています。そして、白鷹町の歴史や文化などにも触れながら、白鷹町のまちづくりに、弊社が持っている知見を活かせればと思います」と語っています。

※「Ethicsの森」(ウェルビーイング)とは、肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあること。

ふるさと
白鷹の森林を、
守り育てる。



もり
森林がつなぐ

ふるさと
白鷹町と都市の交流

東京都三鷹市とのつながり

自治体の名前に「鷹」がつく全国の市町が集まり開催していた「ホークスサミット」をきっかけに、友好都市として防災や観光交流などで連携を行っている東京都三鷹市。同市との間で白鷹町は、「森林環境譲与税の活用に係る連携に関する協定」を締結しました。これは、①森林の整備および保全、②カーボン・オフセット、③林業作業、自然観察その他森林を活用した体験活動、④産出される間伐材その他の木材の活用の大きく4つを目的とした協定となっております。

三鷹市は、令和6年度より同市の森林環境譲与税を活用して白鷹町と連携して、白鷹町内の森林施業を行っています。令和6・7年度は中山地内において、伐採跡地の約3haの植林、下刈りの支援を行いました。

また、例年、三鷹市で開催される「三鷹の森フェスティバル」では、白鷹町の芋煮、玉こんにゃくの販売とともに、令和7年度から、本協定の活動PRパ

ネルを展示して、広く三鷹市民にこれまでの取組を発信しました。

三鷹市は、今後の活動として、「森林施業への支援の継続のほか、白鷹町の木材を活用し木製品の加工体験や木製品の利活用を通して三鷹市民に環境意識を持っていただく取組や、実際に三鷹市から白鷹町に来町し、植林を行うなど交流の拡大や白鷹町産木材の建築物への活用などを考えたい」と語っています。

